

先生各位

検査に関するご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび下記のとおり検査に関するご案内を申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

● 新規検査項目

《受託開始日》 令和 4 年 1 月 31 日（月）受付分より

《検査要項》

検査項目名称	抗カルジオリピン抗体 IgG	抗カルジオリピン抗体 IgM
検査コード	1135	1136
JLAC10	5G508-0000-023-023-01	5G510-0000-023-023-01
診療行為コード	160164050	160228750
検体量	血清 0.2mL	
保存・容器	冷蔵・A1→A2	
実施料（判断料）	232 点（免疫）	232 点（免疫）
所要日数	4 ～ 8 日	
検査方法	EIA 法	
基準値*	12.3 U/mL 以下	20.8 U/mL 以下
最小報告値	4.0 U/mL 未満	2.5 U/mL 未満
最大報告値	120.0 U/mL 以上	80.0 U/mL 以上
報告形態	小数点第 1 位	
実施施設	ビー・エム・エル	
保険収載名称	抗カルジオリピン抗体	抗カルジオリピン IgM 抗体
保険注釈	<p>抗カルジオリピンβ_2グリコプロテイン I 複合体抗体と抗カルジオリピン抗体を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。</p> <p>抗カルジオリピンβ_2グリコプロテイン I 複合体抗体、抗カルジオリピン抗体、及び抗カルジオリピン IgG/IgM 抗体およびβ_2グリコプロテイン I IgG/IgM 抗体の検査のいずれか 2 つ以上を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。</p> <p>抗カルジオリピン抗体、抗カルジオリピン IgM 抗体、抗β_2グリコプロテイン I IgG 抗体、抗β_2グリコプロテイン I IgM 抗体を併せて実施した場合は、主たるもの 3 つに限り算定する。</p>	<p>抗リン脂質抗体症候群の診断を目的として、ELISA 法を用いた免疫学的検査で抗カルジオリピン IgM 抗体の測定を行った場合は、一連の治療につき 2 回に限り算定する。なお、本検査と「抗カルジオリピンβ_2グリコプロテイン I 複合体抗体」及び「抗カルジオリピン IgG/IgM 抗体および抗β_2グリコプロテイン I IgG/IgM 抗体 4 項目同時測定」のいずれか 2 つ以上を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。</p> <p>抗カルジオリピン抗体、抗カルジオリピン IgM 抗体、抗β_2グリコプロテイン I IgG 抗体、抗β_2グリコプロテイン I IgM 抗体を併せて実施した場合は、主たるもの 3 つに限り算定する。</p>

*基準値は、APS 国際分類基準に準じ、健常人の 99%タイルに基づいて設定しております。

● 受託中止項目

《最終受付日》 令和 4 年 2 月 26 日（土）まで受託

《中止項目》

総合検査案内	検査コード	検査項目名称	代替項目
P.49	3975	抗カルジオリピン抗体	抗カルジオリピン抗体 IgG 【検査コード 1135】 ※新規検査項目参照
	1406		抗カルジオリピン抗体 IgM 【検査コード 1136】 ※新規検査項目参照

《中止理由》 委託先（ビー・エム・エル）における受託中止
※ APS 国際分類基準に準じた新規検査への統合

● 検査内容変更

《変更日》 令和 4 年 1 月 31 日（月）受付分より
（沖縄：令和 4 年 1 月 29 日（土）受付分より）

《変更内容》

総合検査案内	検査コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.30 P.91	4382	尿中 I 型コラーゲン架橋 N-テロペプチド (NTx)	保存条件	冷蔵	必凍
			所要日数	4 ~ 7 日	5 ~ 9 日
			検査方法	CLEIA 法	EIA 法
			JLAC10	5C123-0000-001-052-28	5C123-0000-001-023-28
			最小報告値	0.1 nmol BCE / mmol・CRE 未満	0.1 nmol BCE / mmol・CRE

※ その他の検査内容に変更はございません。

《変更理由》 委託先（ビー・エム・エル）における変更